

月刊



編集発行 一般社団法人 西宮市老人クラブ連合会 〒663-8233 西宮市津門川町2-28 西宮市福祉会館 電話 0798-34-3334

こんにちは！「あいさつ」から広がる友愛活動



西宮権現平桜（秋田にて）

山々が春色に輝く

花は桜木 人は武士の時世より幾星霜

繁栄と文明の華を開花させた『観桜の宴』には

人々の心を癒やすふしぎな力が宿っているのか

そこかしこにお江戸の花見が展開され

いつの頃からか 出合いを彩る風物詩ともなった

この花に魅せられると花筏までもいとおしくなる

今はただ前線が静かに北上することを希うのみ：



小松校区の県民交流ひろばに於いて「京都精華大学」森ひろし准教授の『鳴尾の歴史』についての講演に参加した。自分たちの住んでいる地域がどのような歴史を辿ってきたのか興味津々で聞き入った。その中からいくつか挙げると、古代の海岸線は阪神電車より北にあった。そのころから小松村、小曾根村は鳴尾地域最古の村として存在していた。▼『鳴尾』は摂津国の歌枕として多くの和歌に詠われていて、例えば有名な謡曲「高砂」でも『鳴尾』が登場する。また、小松の平家伝説として平重盛の館があったという伝承がある。小松町一帯に樋口姓が多いのは平氏が城館を建てた際、地元の農家14軒が用材を運んだ功績により、重盛から「樋口」姓を賜ったとも言い伝えられている。▼『明治の大合併』により、小松村、小曾根村、鳴尾村、上田新田村の4村が合併し、武庫郡鳴尾村が発足。1951年に鳴尾村が西宮市と合併。その際、西宮と尼崎のどちらと合併するかを住民投票にかけて西宮市へ、等々。▼今回の講演会では参加者の半数が男性であった。高齢者が参加するイベントは女性が圧倒的に多いのが現状であるが、内容によっては男性を増やす可能性もあるという収穫を得た講演であった。

(山崎)

校区老連会長会 3/12

*西宮管工事業協同組合からの寄付金

2月25日の臨時社員総会に先立って行われた目録贈呈(寄付金)に至る経過についての補足説明が同組合の海藻忠夫理事長同席のもと、中野俊男専務理事・事務長から行われた。

*平成26年度老人クラブ補助金等申請書

高齢福祉課渡部主事から補助金等申請書の記載方法等についての説明が行われた。

問合せ先... TEL:0798(35)3032 提出期限:4月21日(月)事務局

【議案事項】

①平成25年度事業報告(案) 校区老連会長から臨時総会と友愛訪問の件についての発言がなされた。この件については見直しを行い、次回の校区老連会長会で再提案することにした。

②社員総会

5月21日(水)13時から西宮市役所東館8階大ホールで特定非営利活動法人と一般社団法人の定時社員総会が行われることを通知した。

【報告事項】

〈広報部〉平成26年度月刊・L版「いぶき」部数調べ

提出期限:4月9日 ただし部数変更希望校区のみ。5月号から適用されます。

・月刊「いぶき」(第178号・5月号) 原稿依頼 L版「いぶき」(第57号・6月号) 原稿依頼

〈体育部〉

・体育部委員会 3月28日(金)13時30分

西宮老人福祉センター 〈女性部〉

・感謝の一言持ち寄り 持ち寄り額:604,331円

・健康講座 参加者:130名

〈若手委員会〉委員会3月26日(水)13時30分

西宮老人福祉センター 〈事務局〉

・平成26年度西宮市老人クラブ連合会理事長表彰の推薦

①個人表彰は、校区の単位老人クラブ数が20以上は2名(※)、他は1名。

※単老数が20以上の校区:浜脇・用海・名塩

②団体表彰

は、結成後10年以上の未表彰の単位老人クラブおよび校区老人クラブ連合会。

提出期限:4月9日(水)

*次回、4月9日はNPO法人の校区老連会長会と一般社団法人の理事会を順次行う。なお開会は従前どおり、13時30分です。

老人クラブ連合会

校区会長便り

NO15

「年輪」の編集で一致協力

上ヶ原校区 会長 小畑 重治

年2回、1月と7月に発行している「年輪」を校区全会長と諸団体にお届けしているが、お読みいただけたでしょうか。約20年前、西宮市老連で最初に広報紙を手掛けたのが当校区だったように記憶している。以後20年間継続している中、最近あちこちでお褒めの言葉をいただき、係一同嬉しく思っている。

坂道が多い上ヶ原は単老間の交流が難しかったが、5、6年前から13単老が合同で「年輪」の編集作業をすることになり、一致団結して企画から印刷、製本まで約2カ月かけて必死で取り組んでいる。傍で見ても頭が下がる思いだ。また、世界的に著名な画家森信航太郎氏がオリジナル作品で表紙を飾ってくださっている。地域のためのご厚意に感謝である。

編集作業を介して情報交換が頻繁になり、所属クラブでの育成や発展へと繋がっている事は実に喜ばしい。今後も皆さんの協力の下、編集作業はじめ講座・講習会開催等も続行していただきたい。南小学校周辺の数クラブでは校庭の花ポランテア活動・花ネットワークが広がっているのもその一つ。上ヶ原の街並みを季節の花々で彩ってくださっている。

甲東地域での関わり

段上校区 会長 兼松てる子

甲東地域(甲東支所管内)は昭和30年代に入り宅地化が進み、小学校が増え、老人クラブも甲東・段上・上ヶ原と組織が整備され、現在に至っています。しかし甲東校区老連(12単老)と段上校区老連(7単老)は今も合同で、毎月定例会長会をもち活動しています。

第一に、新春恵方三社詣りは一泊旅行です。一泊することで参加者同士の親睦が深まり、仲間づくりに広がりを見せています。さらに春と秋には日帰りバス旅行を実施しています。いろいろな文化や歴史、自然に触れる旅が年3回、会員にとっては魅力的な活動になっています。

段上校区老連では健康づくり、仲間づくり、社会奉仕の目標に向け、それぞれの地域性にあつた多彩な活動が進められています。たとえばA老人クラブでは、毎朝小学生の登校時に危険箇所での交通指導をしておられます。B老人クラブでは月に2回茶話会をもち、おしゃべりや歌をうたつて、楽しい時間を過ごしているグループがあります。最近では70歳代の会員の参加者も増えて活気づいています。

高齢者にとって集う場は、すなわち憩いの場でもあります。

花の季節になると遠く秋田の地、日本国花苑で咲きはこっているであろう「西宮権現平桜」。秋田県との絆を一層強いものに尽力されたのは、今はなき岡田眞男元会長。当時の方々は言うに及ばず、西宮老人クラブの歴史として語り継ぎたい秋田県との「絆」の始まりです。

桜の季にちなんで、岡田氏の当時の手記を記載します。

秋田老連と西宮市老連のつながりについて

元西宮市老連会長（故人）

岡田 眞男

【阪神淡路大震災発生】

平成7年1月17日午前5時46分。私は家内と二人1階に寝ていましたが、ガタゴトと大きな音と同時に、住居の内容が一変しました。2階のものが落ちてきて私たちを襲い、下敷きになり動く事など一切不可能で、じりじりと加重がかかって息が出来なくなり、叫ぶ声も出なくなり、この世の最後かと思いました。

幸い同居の息子たちが助けてくれ、危機一髪で難を逃れました。私は頭蓋露出・肋骨3本骨折。家内は首骨損傷で、今でもその後遺症に悩んでいます。その後、市の仮設住宅に入所しました。秋田の老人クラブの方々の訪問を受け

たのもその当時でした。

各方面から手厚い慰問を受けました。秋田の老人クラブからは、西宮の老人クラブ会員の仮設住宅入居者を秋田へ招待して、1泊2日の短期間でもホームステイで、もてなしたいとの案内がありました。人選の結果47名が参加することに。最初から最後まで、その招待の行き届いた厚意に、私たちはただ感謝感激あるのみでした。出発する前には大きな荷物が秋田より届きました、旅行鞆でした。秋田からの帰りには、みんな土産ではちきれんばかりに膨らんでいました。

その後いろいろな連絡を取り合いましたが、西宮から秋田へ記念になるものを、という話を持ち上がり、西宮でつくった「権現平桜」を贈ることに決定しました。そして当時の馬場市長が、良い案であるから無償で秋田へ贈ろうという事になり、平成10年10月の秋田県老連大会に西宮市老連「友愛の絆」として苗木80本を送りました。11年9月に井川町「日本国花苑」に苗木を植樹しました。

【碑と桜の会】

会合を何回か重ねるうちに、表題の碑の設置はどうかという話が双方から持ち上がり、満場一致で建設に向かつて協議活動する事になりました。まず場所の選定では、かぶとやま荘中庭に市社協理事長の厚意で問題なく決まり

ました。どういふものを造るかという話になったとき、秋田県側から男鹿市に男鹿石という立派な石があるということ、わざわざ見本の提供までいただき男鹿石に決定。形態は秋田県側に一任して、平成9年12月末に完成という運びになりました。この石は秋田県男鹿市の寒風山の麓で採掘されている輝石安山岩です。

実に立派な碑でありまして、碑だけの重さが19トン、付属品を合わせたの搬送は10トントラック3台で3日かかりで運送されました。設置については、50トンレッカー車を用意し、現地へ運びました。大変な工事だったようです。

【完成祝賀会】

記念完成祝賀会終了後、ことぶきバスに全員（37名）乗車、甲子園球場を



見学、仮設住宅入居者の現状を視察されました。

【秋田県老連会長・味水澧吉氏ご逝去】

味水氏が平成13年1月28日逝去されました。葬儀には私と盛山書記が参列させていただきました。味水会長とは阪神淡路大震災発生後、秋田と西宮という遠隔の土地にもかかわらず、親しく交際を賜り、また何度か西宮をご訪問くださり、私たちの復興にお力添えをいただきました。

また「碑と桜の会」の碑の建設では、大変なご協力をいただき、見事に完成にこぎつけてくださいました。

心からお礼を申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

【秋田と酒の談義】

余談ながらホームステイ先の、秋田県鹿角市で「厄介になり、名物「きりたんぼ」を「ごちそうになりましたが、その席で、お酒も「ごちそうになりました。」

私は秋田の人が「秋田の酒は日本一」と申されたのを聞き、「否、酒の日本一は、撰津の国、灘の酒や」と大人げない言い争いになりました。「ここに現物が無いので仕方ありませんが、西宮へ帰れば即、灘の酒を送り届けます」と約束し、『黒松白鹿』を1ケース送りましたところ、「なかなかいい酒だ」との返事がありました。少し溜飲の下がる思いでした。



子供たちの昔遊び

生瀬校区

生瀬高台老人クラブ いこい会

会長 依田 行能

生瀬校区老連では毎年、定例事業として市立生瀬幼稚園と生瀬小学校に、老人クラブ・PTAなどが参加する地域ぐるみのお祭り「なませ幼フェスタ」「生瀬バラタイス」があります。これはそれぞれ年1回ですが、ほかに小学1年生の通常授業の中に「昔遊び」

があり、出前で参加してにぎわい事業を盛り上げ、童心に帰って楽しんでいます。

ところで私たちが幼いころは、ファミコンもスマホもテレビすらない時代で、どのような遊びをしていたのでしょうか。「昔遊び」といっても地方や年代や性別によって、遊びの種類、遊び方も呼び方も違っているとは思いますが。私の田舎では近所の仲間と、仲良く遊んだり、ケンカしたりしながらいつも一緒でした。ベッタン、ヨーヨー、けん玉、かくれんぼ、コマ回し、縄跳び、ゴム跳び、輪回し、竹馬、竹トンボ、凧揚げ、チャンバラ、将棋、ビー玉あて、釣さし、魚つり、山での探検。女の子はおじゃみ、おはじき、あやとりなどでした。

使った飛行機、紙鉄砲、コマ回し、けん玉、輪投げ、おはじき、おじゃみ、皿回し、風車、科学工作クラブのマジック作品などをブースに分け、組、クラス、学年毎に30〜40名が次々と、休む間もなく約30分ごとに入室してきました。先生から「昔遊び」の名人さんとおだてられ、各クラブからの参加で20余人の会員が、約2時間のお遊びに奮闘します。



る児童も。一方、両親や先生方も我を忘れて自分が主役のように皿回しに興じ、楽しく交流が図れるひと時もあります。このように「昔遊び」の出前は単に伝承だけに留まらず、交流、絆、懐古、生きがい、創作などの副産物を生みだしてくれる事業だともいえます。

子供たちは日常あまり遊んだことのない「昔遊び」に興味津々のまなざしで、遊んでくれます。はにかみやさんも中にはいますが「一緒にしようよ」と誘うとニコツとして挑戦し、うまくできると「できた！」と歓声を上げて喜んでくれます。その様子に名人も「やった、やった」と大喜びします。高学年の中には、けん玉など名人顔負けの妙技を演じて悦にいつて「昔遊び」の逆伝承をしてくれる

昨今、子供の遊びの中で、ネット依存症やテレビゲームの弊害が論じられています。ネットやテレビなどの有用性も理解しながら、子供たちが「昔遊び」に興味を持ち、学校、地域、家庭で少しでも普及すればと願う自称名人です。

4・5月の行事予定

4月9日(水)	理事会	10:00
	校区老連会長会・(一社)理事会	13:30
5月8日(木)~7月31日(木)	囲碁教室 (西宮老人福祉センター)	10:00
13日(火)	(一社)三役会	10:00
14日(水)	NPO理事会	10:00
	校区老連会長会(一社)理事会	13:30
21日(水)	市老連会長表彰・社員総会(NPO・一社) (西宮市役所東館8階大ホール)	13:00
23日(金)	グラウンドゴルフ大会(予備日:5月30日) (大阪ガス今津総合グラウンド)	9:00

「昔遊び」に参加しています。幼少時のお金のかからない素朴で創意工夫の手作り遊びと、竹馬の友が懐かしくよみがえってきます。幼稚園や学校で実施している「昔遊び」は、私たちが経験しなかつた遊びもありますが、折り紙、チラシを



紙、チラシを

編集後記

▶いろいろな花が見頃を迎え、生命力溢れる季節です。皆さま新たな気持ちで活動に取り組んでおられることと存じます。▶お互いこの年齢になると、至る所に老化のサインが…。生活の基本を忠実に守り、自分に合った健康ライフをみつけ、楽しい毎日を。▶今晚は筍ごはん。姫皮とそら豆のごま和えはいかがでしょう。▶さあ元気にスタートです。